

# 支部だより

## シドニー支部

海老原直子 (A平5)

アラビア科、ESS同窓生の皆様、いかがお過ごしですか。シドニーに来て早3年になります。「シドニーは支部幹事不在」と知り、それならば私かと手を挙げてみた所、実は東京・大阪・神戸の三外大合同「シドニー外語会」が既に20年も存続していたことが判明、今は私もその一員として楽しく参加させて頂いています。ユニークな会ですのでここに紹介させて頂きます。「シドニー外語会」は東京・大阪・神戸の三つの国公立外国語大学出身者による同窓会で、1982年12月に第一回開催以来、例会は年に2、3回のペースで20年以上も途絶えることなく続いており、通算51回を数えます。現在東京9名、大阪・神戸がそれぞれ5名ずつの計19名が在籍、毎回の例会には10名前後が参加、時には家族も参加して賑やかな会になります。それにしてもたまたまどこかの「外語大」を出て、たまたまシドニーに居合わせたというだけの、一見希薄な集まりのこの会がこれほどしっかりと存続しているのは、まさに「外語大」ならではの不思議な縁と親近感によるものと感嘆します。そして気楽な集まりとしてこの会を育て上げてきた、歴代の各大学からの会長・幹事・世話役の方々の努力の賜物です。尚、現在の会長は東京外語大の青木清久さん (I昭32) です。シドニーは世界で最も住みやすい都市の一つと言われます。年中気候も穏やかで、各国からの移民も多く、食材も豊富で各国料理が堪能できます。日本人はワーキングホリデー、学生、駐在員等の短期滞在者のほか、永住者も多くいます。外語大で英語以外の言語を専攻した者がシドニーに来る場合、大半は自身の専攻言語とは関係ない理由で来るわけですが、全く縁が切れるわけでもないのです。例えば私の専攻語アラビア語はここニューサウスウェールズ州では英語の次に多く話されている言語で (主にレバノンからの移民者)、

目にする事耳にすることもしばしば。シドニー西方にはイタリア、ベトナム、韓国、レバノン人街等、独立国家のような街がいくつも存在します。また最近は、「移民の子供であるオーストラリア人」(他国出身の親からオーストラリアで生まれた子供)が社会を動かす20代、30代の年齢に育ってきています。英語で育ち、親の母国語を話せない彼らは、オーストラリア人としてのアイデンティティーを持ちながらも、訪れたことのない親の「母国」への憧れも強く持っています。彼らは今後この国をどう動かし支えていくのでしょうか。各国の文化が複雑に融合し共存するこの街が、世界の平和・共存を代表する都市として、北半球の争い事とは無縁に、さながらユートピアのように発展することを夢見るのは私だけではないでしょう。

「シドニー外語会」東京外語大出身の在籍者 (会長) 青木清久、アブデルガニ<岩坪>典子 (IM昭54)、アラム栄美子 (E平11)、長谷川洋一 (D昭56)、チェリークオ (J昭58)、南まり (C昭59)、中尾<山内>尚子 (IC昭55)、高橋ゆり (GLB平2)、海老原直子

## サンパウロ支部

横山幹雄 (F昭47)

去る9月10日、9ヶ月ぶりにサンパウロ支部外語同窓会を開催しました。援護協会会長の和井武一さん (Po昭16) がJICAから国際協力功労者として表彰されたのを機に集まったものです。当地では和井さんを始め、大御所であるサンパウロ新聞主幹の内山勝男さん (S昭6)、画家の砂古友久さん (Po昭26)、書道家の若松孝治さん (Po昭26)、評論家では高木登さん (S昭31)、鈴木孝憲さん (Po昭36)、教授の二宮ソニアさん (J昭53)、翻訳家の小高<保田>利根子さん (E昭43) 等々と枚挙に暇がない程現地に居を構えて活躍されている方が多く、各分

野で多彩な活躍をされているのは誠に嬉しい限りです。私達派遣員を加えると総勢約40名にもなる外語OB会です。当日は各分野での幅広い話に花が咲きましたが、同時に新しい役員体制の発表も行われ、支部長に砂古友久、事務局幹事に三浦伸一 (Po平8)、補佐に横山幹雄の各氏が紹介されました。今後はリオデジャネイロ支部、大阪外大、その他、上智等外国語を学んだ学校のOB会等との交流も含めて、活動を盛んにして行くことが確認され、盛会裏に楽しい時間を終了しました。なお浅田徹さん (Po昭40) が中心となられて、年2回外語合同のゴルフ大会が続いていることもお知らせしておきます。

## カイロ支部

小熊<藤原>利江 (D平1)

昨年に続き、今年も11月にカイロ外語会を開きました。カイロ在住邦人は約400名と少なくなりましたが、そのうち15名が東京外語関係者で3分の2をアラビア語科が占めています。今年は急な開催にもかかわらず、留学生を含む10名が集りました。美味しいレストランの少ない(特に日本料理店) エジプトですが、みんなでテーブルを囲めば笑顔が最高のソースになります。その後、カイロ日本人会長でもある谷内俊郎氏 (I昭47) のご好意で同氏のお宅で行われた2次会へと全員が移動しました。参加者: 谷内俊郎、岡本道郎 (A昭58)、尾崎裕子 (H昭59)、若林美佳 (A昭60)、小熊宏尚 (R昭63)、小熊<藤原>利江、A在学中の4名、荒川奈美、小山さやか、寺嶋直之、村山誓一。初めて名簿を作成しました。エジプト在住で未登録の方々、ご連絡ください。連絡先: rieoguma@hotmail.com

## 香港支部

河口潤子 (Po平6)

9月26日、香港公園内のレストランで香港支部同窓会を行いました。前回に続き、会員(同窓生)の家族や、香港に留学中の在學生にも参

加を呼びかけました。会員総数62名(今月末に離港される方含む)の内、45名(内お子様2名)が参加しました。今回は、ビンゴや、バイオリンとチェロのアンサンブルなど、楽しい企画も行いました。提案や景品の提供、演奏くださった会員の皆様、ありがとうございました。今後も新しい提案がありましたら、ぜひお知らせください。半年ぶりの同窓会で、家族も交えて親睦を深めていただけ、また留学生や研修生、新しい会員の方にも多数ご参加いただけたいへん盛況な会となりました。次回の同窓会は2004年3月ごろを予定しています。もし、お近くに、新たに香港にいらした方、まだメンバーになっていない同窓生の方がいらっしゃいましたら、差し支えないか確認の上、名前、連絡先等をご連絡ください。外語会の紹介と同窓会のご案内をさせていただきます。勤務先、連絡先等が変わった場合もご連絡ください。

問い合わせ、連絡は、下記、事務局(幹事)の個人アドレスまでお願い致します。

香港外語会事務局: hkgaigokai@hotmail.com

樋渡一海 (C平4) tschiwa@netvigator.com

河口潤子 junjunhk@exasia.net

山崎大樹 (Th平11) yamasaki@dns-hk.com.hk

## 中部支部

須賀慶治 (E昭30)

東京外語会中部支部の同窓会が10月16日名古屋国際ホテルで開催されました。出席者20名という小規模な集りになりましたが、昨年の会合で長年にわたり中部支部長をされておりました山村大先輩から指名を受けた須賀支部長の挨拶で開会、3時間余にわたって懇親の意を尽くすことが出来ました。これまで中部支部の世話をしてくださった前幹事の富永さんが勤務先の都合で転居されたため、筆者自身が不慣れな幹事役を勤めることとなり、ゲストスピーカーの用意も無く出席者に物足りない思いをさせました。反面、向かい合わせのテーブル席で発言を全員が共有することが出来たというメリットもあったかと思えます。外語会の支部とは何か、という基本的な問題を考えさせられる会合でも

ありました。1年に1回相集い同窓の懇親の場をもつという意味合いと、新しく大学を卒業して地域に就職した若い人々や、転勤で名古屋地区に来られた方々を先輩、同輩が迎え入れるという場でもあり、それなりの意義はあろうかと思っております。今後のあり方として、多くの会員に参加していただくために皆さんが興味を持っていただけるようなスピーカーを用意すること、女性会員の参加を拡大するための方策を考えることなどを探っていきたく感じております。上述のように現在当支部は幹事不在となっておりますので幹事ボランティア2、3名を自薦他薦に関わらず募集しております。中部地方に在住の会員の皆様からのお申し出を歓迎します。特に女性会員が幹事に加わっていただきたいと希望しております。

## 新潟支部

栃倉 浩 (R昭41)

新潟支部の支部長であられた豊島良之助氏が昨年2月に逝去されました。先生は、当時英語の教員不足を補うために東京外国語学校に併設された臨時教員養成所を昭和6年に卒業されました。長年にわたり当支部のためにご尽力くださいました。先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

昨年9月30日に13名の会員の出席を得て15年度新潟市部会が新潟市で開かれました。関武治 (E昭6) 新支部長は豊島前支部長と同期のご高齢 (94歳) で、出席者一同これにあやかりたいと思うことしきりでした。地域の公民館で中国語を長年教えている方、新潟の大学で国際関係やロシア語を教えに東京から来ている方、新潟県の行政に携わっている方、環日本海経済圏に尽力されている方など、皆さんから興味深いお話が聞けて有意義な一夜を過ごすことが出来ました。出席者が多いとはいえませんが新入会員の参加も少しずつ増えて、今後の活発な活動が期待されます。新潟県にお住まいの東京外語会の同士の方々、支部会へおしゃべりにいらっしゃいませんか。

連絡先:富山<小柳>栄子 (R昭61)

〒951-8123新潟市下旭町118

fax025-228-3165 E-mail:eikod@hotmail.com

## ロンドン支部

小倉正広 (D昭57)

ロンドン支部の外語会が大阪外語との共同により11月7日、セント・ポール大聖堂から程近い日本レストランの「Cityみやま」で開催され、29名が参加しました。夏時間が終わって5時を過ぎるとすっかり暗くなるロンドン。この間まで夏だったのが急に寒くなり、誰もが暗い気分になり始めるというこの季節。それにもかかわらず集った皆さんは愉快な人ばかりで、季節とは裏腹に賑やかなひと時になりました。大阪外語との共同開催は今回で3度目。日程の都合上、大阪外語側の参加者は7名で、当初は少々寂しい気もしましたが、集まってしまえば東京も大阪も関係ありません。すっかり打ち解けて、互いに以前からの知り合いのように冗談を言い合ったりしていました。数名の方は遠いところから参加され、中には現在ドイツ在住で、ロンドンへ遊びに来た「ついでに」参加された方も。いくら大陸とは列車で行き来できると言っても、会が終わるまで列車があるわけもなく、周囲からは「終電間に合うの?」との声上がる一幕もありました。自己紹介では60年代から2000年代の卒業という世代差とともに、自分たちが普段身を置く組織ではこれだけ幅広い職業・年齢層の方々と知り合える機会はありませんということも改めて実感。英国での職業・滞在期間もさまざま、情報交換の場としての重要性も再確認されました。蓮見さん、安田さんのお二方が間もなく帰国されることも明らかになり、わずか10日後に送別会が開催されるなど、どうやらかなり楽しい雰囲気でのロンドン外語会。これからはお互いのつながりを大切にしたい会合が持たれるようです。参加者は以下の方々です。東京外語：蓮見幸輝 (E昭41)、荻野倬也 (F昭46)、酒井一雄 (E昭48)、横川正博 (F昭53)、ブライアン<佐々木>恵 (E昭53)、小倉正広 (D昭57)、持田譲二 (D昭59)、小倉<池田>

かおる (R昭59)、長谷川健司 (Pr昭60)、石丸慎司 (S昭61)、石野斗茂子 (E昭63)、安井<猪瀬>純子 (C平1)、伊藤暢人 (R平2)、安田昌平 (I平4)、宮本哲朗 (F平5)、保志茂寿 (J平7)、岩橋克二 (J平7)、渡辺聡子 (D平10)、大橋真希 (D平11)、福井成美 (D平11)、山崎美恵 (GDI平13)、小野満 剛 (D平12)、相原啓人 (Ma平14)。大阪外語方は古川修 (K昭44) 会長以下6名が参加。

## 一週間に3度のミニ外語会

(パリ、ロンドン、ウィーン)

鈴木惟高 (F昭45)

11月16日から24日まで欧州に出張しました。まるで外語会オンパレードのような一週間でした。先ずパリでは佐々木勉さん (D昭55) にお会いしました。卒業後、慶大大学院で経済学を修め、現在日本郵政公社郵政総研客員研究員として活躍中。奥さんは仏大手銀行に勤務する才媛。また在仏10数年、長くトヨタフランスの副社長を務め、最近、光洋精工に移って副社長の職にある錫村寛海君 (F昭44)、ちょうど訪仏中だった「国境なき医師団日本」会長の寺田朗子さん (F昭50) と楽しい同期会も開きました。(3人とも卒業年次は違うが同期)。次いで、ロンドンではロンドン支部会長の小倉正広さん (D昭57)、大阪外語会会長の古川修さん (K昭44) と会食しました。小倉さんは東芝ヨーロッパ社の副社長を務める傍ら音楽ジャーナリストとして活躍しており、一方古川さんは小生の仕事上 (海外引越) のカウンターパートである日本トランスユーロ社ロンドン支部の代表を務める傍ら3冊の翻訳書を出した他、最近では『適当だけどなぜか幸せなイギリス人、真面目だけど苦勞が多い日本人』(大和書房) を出版しました。全く異色の顔合わせとなって話題は尽きずとても刺激的なひと時でした。パリで会った佐々木さんは何と小倉さんと将棋仲間だったと分かり、世間は、いや外語の世界は狭いもんだと痛感した次第。最後に訪れたウィーンでは、会長を務める奥村和子 (E昭50) さんがミニ外

語会を開いてくれました。彼女は大恋愛の末オーストリア人の植物学者と結婚し、自身も国連のUNIDOで活躍中。大阪外語との交流も盛んと聞いてロンドンの古川さんも参加、法政大学の熊田泰章教授 (D昭54)、三井物産の清水博之さん (D昭54)、JICA勤務のご主人をもつ松岡真理恵さん (H平5)、それに野村證券の茶野道夫さん (大阪S昭49) 夫妻が、ホイリゲという自家醸造の新しいワインを飲ませる農家に集まり、おいしい料理とたっぷりワインでものすごく楽しい夕べを過ごしました。聞けばロンドンの小倉さんは以前ウィーンに駐在した際、ウィーン外語会を立ち上げたそうで、彼に口説かれて奥村さんは会長を引き受けた由。皆様これからもどうぞお元気でご活躍下さい。

## ウィーン支部

大門和晃 (D昭57)

去る10月18日、ウィーン支部は今年2回目の外語会を開催しました。会場の「レストラン・イリヤ」はアドリア海の香り漂うお店で、ダルマチア (クロアチア) 料理としてはウィーンでも知る人ぞ知るレストランです。ウィーンでは普段なかなか口に入らない新鮮なシーフード料理を楽しむことが出来、皆さん大変盛り上がりました。ウィーンにおいても日系企業の撤退が相次ぎ、ウィーン外語会も今年から大阪外語出身の方々にも声を掛けて開催しています。今回は現在法政大学で教鞭を執られている熊田さんの3度目のウィーン駐在の歓迎を兼ねた同窓会となりました。ウィーン外語会メンバーにはワイン通が多く、来年はワイン試飲ツアーを企画しようという話も出ておりますので、来年以降もウィーン外語会の活動に是非ご注目下さい。参加者は、奥村和子 (E昭50)、熊田泰章 (D昭54) 夫妻、大門和晃夫妻、松岡真理恵 (H平5)、三村<中川>亜貴子 (GD平8)、大阪外語より茶野道夫 (S昭49) 夫妻の総勢9名でした。